

郷土の会だより

発行責任者
岡村昭則

ホームページ・伊奈いきがいネットクラブ
第七回編集委員会(11月17日開催)

専科一期ホームページ委員出席者

伊藤盛夫、岡村昭則

今回は、八月に実施されたホームページ講習会に引き続き、十二月に実施される22年度下期ホームページ講習会実施計画を中心に話し合いがもたれました。

日時は、12月15・17日 県活3Fパソコン室
今回のねらいは、

- 一、21期生ホームページの開設
- 二、専科二期生開設済のホームページの改善、投稿ルールの改善、WD利用に記事のアップ作業の習熟
- 三、夏の講習会以降の課題

21期生と専科二期生の課題が提示され、その解決に向けて取り組むことになった。

最近のホームページ作りはマイクロロシエアポイントの特徴が出ていないとの指摘があった。

11/26に実施される伊奈合同研修会について、ホームページは19期が取材を担当する。

専科一期ホームページのPRとして更新情報を会員にメールリングリストで配布する必要あり。

第14回ウォーキングサークル

岩槻

(11月16日)

天谷範夫

集合場所の岩槻駅には、私を含め9名が集合。

前日は雨だったので、天気心配が有りましたが、本日は気持ちの良い、晴天です。まずは、愛宕神社へ向かいます。参道を逆に進み、鳥居を出て、大工町の石碑が有りますが、当時をしのぶ物は道の狭さ位です。大通りへ出て岩槻区役所を過ぎ、渋江交差点へ。ここから左に曲がり龍門寺へ向かいます。この道が御成街道です。ここには、岩槻城主大岡家の墓が有ります。次に向かったのは、久伊豆神社。参道の木々で陽射しが遮られ、今の季節では、少し寒い感じさせします。本殿裏には、県記念物の、おおさかきの木が有ります。鳥居を過ぎ、踏切を過ぎてしばらく歩くと、城址公園ですが、手前にフェンスで囲われている地域で発掘調査が行われていました。公園内の東屋風休憩所で昼食。公園内を進み、朱塗りの八つ橋で池の鯉にパンの餌やりを楽しむ。白鶴城と書かれた石碑、裏門、人形塚、黒門等を見て、公園を出て、諏訪神社へ。岩槻商業高校を過ぎ、時の鐘へ。周囲は住宅で囲まれてあまり広くは有りませんが、大きな銀杏の木が見事でした。少し戻り脇道を進み、岩槻藩遷喬館、旧警察署建物を転用した郷土資料館と見て回り、岩槻駅へと戻り駅前で休憩御茶タイム。天気に恵まれ楽しい一日となりました。

岩槻の経緯

1457年、太田道灌によって岩付城が築城される。戦国時代には道灌の曾孫・太田資正は名将として名を轟かせた。江戸時代、大岡家岩槻藩2万2千石の城下町として、また日光御成街道の宿場町として栄えた。なお、岩槻城長屋門などが遺構として移築現存している。

明治4年廃藩置県に伴い、埼玉県が成立。県庁は岩槻町におかれることとなったため、県名は岩槻町の所属郡である埼玉郡から名づけられた。しかし県庁は、暫定的という形で浦和町の旧浦和県庁に置かれ、明治9年12月 実際の県庁が岩槻町におかれることのないまま、実質的に浦和町が県庁所在地となる。

昭和4年11月北総鉄道(現在の北総鉄道とは無関係)がのちの東武野田線となる大宮仮停留所(東武鉄道粕壁駅(現・春日部駅)間15.3km)の鉄道路線を開通した。

昭和29年7月岩槻町が市制施行し岩槻市となる。平成17年4月さいたま市に編入され、さいたま市岩槻区となる。

岩槻の人形づくりの歴史

日光東照宮の造営と深いかわりがあります。約370年前の634年(1647年)三代将軍徳川家光公が、日光東照宮の造営にあたって全国から優れた工匠を集めました。当時岩槻は、日光御成街道の江戸から最初の宿場町であったため、東照宮の造営や修築に携わった工匠たちの中にこの土地に住



み着いた者も多く、その人々が付近に数多く植えられている桐を使って笹笥などの製品を作るようになったと言われています。その中には人形づくりをする者もいて、その技術を広めたといわれます。新版風土記によると、1697年京都堀川の仏師恵信が岩槻で病に倒れ、時の岩槻藩主小笠原長重氏の藩医の治療を受けて回復後も岩槻にとどまり、付近で産出される桐粉に着目し、しょうぶ糊で練り固めて人形の頭を作り始めたと言われています。岩槻周辺は桐の産地だったので原料の桐粉が豊富で、しかも人形頭の塗装に使用する胡粉の溶解、発色をよくするために重要な水に恵まれていました。こうして恵信の残した桐塑頭の技法は、藩の武士や農家の人々の内職・趣味・兼業等によってその後も受け継がれ、幕末には岩槻藩の専売品に指定されるほど重要な産業となり今日に受け継がれております。現在、「江戸木目込人形」、「岩槻人形」が経済産業大臣から伝統的工芸品として指定され、生産量・生産額とも日本一の人形のまちとなっています。



久伊豆神社



城址公園八ツ橋



白鶴城址碑



裏門



黒門



人形塚



時の鐘



遷喬館



郷土資料館